



四国がんセンター
呼吸器科



カルボプラチン+パクリタキセル+
ベバシズマブ+アテゾリズマブ療法を
受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2024年12月24日 作成
2026年9月14日 改訂

私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします

カルボプラチン+パクリタキセル+ ベバシズマブ+アテゾリズマブ療法のスケジュール

1 コース（21日間）

入
院
日

治療
1日目

治療
2日目

治療
3日目

治療
4日目

治療
5日目

治療
6日目

アテゾリズマブ
(テセントリク)



30分～60分の点滴です

ベバシズマブ



30分～90分の点滴です

パクリタキセル



約3時間の点滴です

カルボプラチン



約30分の点滴です

・この他に、アレルギー予防や副作用予防のための点滴があります

- ・抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- ・息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です

治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります

特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約2週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活と治療内容について理解できる
- ・治療中の注意事項について理解できる
- ・心身ともに治療を受けられる状態にある

<時間>

<予定>

11:00	入院	入院後に以下のことを予定しています ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 (テレビの病院案内も参考にしてください) ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食	・血液検査、尿検査、胸部レントゲン(初回入院のみ) ・入院前の生活状況や身体状況の聞き取り ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください
		治療の流れや注意事項、副作用や対策について説明します 過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照 「ベバシズマブガイドブック」参照 「テセントリクハンドブック」参照
		<お薬> 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
18:00	夕食	<食事> 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください 基礎疾患(糖尿病、高血圧等)がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯	<睡眠> 眠れないときは安定剤を服用することができます

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
ベバシズマブ、テセントリクの注意点について、詳しく記載された冊子をお渡しします
治療が開始したら、毎日治療ダイアリーを記入しましょう



※2回目以降の入院の方は、治療ダイアリーと血圧手帳を確認します
テセントリクハンドブックP25～P37に記載されている症状(息苦しさ、下痢、皮膚の症状など)があるとき、血圧が正常値より高い、頭が重い感じが続く、鼻や歯肉からの出血が続くなど気がかりなことがありましたら、看護師にお知らせください

医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

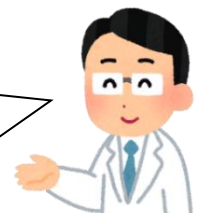
6:00	洗面、歯磨き 検温、血圧測定
7:30	朝食
9:30	点滴を始めます ※抗がん剤の点滴前後で血圧、脈拍を測定します ・医師の指示があるときは点滴開始時から飲水量を測定しましょう (用紙は別でお渡しします) ・アレルギー症状の早期発見のために、パクリタキセル開始前から パクリタキセル終了まで心電図モニターを胸に装着します ・点滴中の移動は、ゆっくり行いましょう
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定 点滴が終了後、シャワー浴ができます 体調に合わせて体を拭くこともできます 看護師がお手伝いします 吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、倦怠感について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



フタをして
水を2回流しましょう

医療スタッフの目標

- ・抗がん剤点滴中の副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

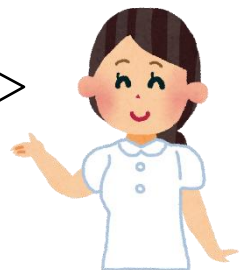


点滴スケジュール

9：30～ 点滴を始めます

1本目	生理食塩水50mlの点滴を約5～10分で行います
2本目	生理食塩水250ml＋テセントリク（抗がん剤）が入った点滴を ・初回：約60分 ・2回目～：約30分で行います
3本目	生理食塩水50mlの点滴を約5～10分で行います
4本目	生理食塩水100ml＋ベバシズマブ（抗がん剤）が入った点滴を ・初回：約90分 ・2回目：約60分 ・3回目～：約30分で行います
5本目	生理食塩水50mlの点滴を約5～10分で行います
6本目	生理食塩水50ml＋アレルギー予防の薬が入った点滴を15分で行います
7本目	吐き気止めの点滴を約30分で行います
8本目	生理食塩水500ml＋パクリタキセル（抗がん剤）が入った点滴を約3時間で行います
9本目	生理食塩水250ml＋カルボプラチン（抗がん剤）が入った点滴を約30分以上かけてで行います
10本目	生理食塩水50mlの点滴を約5～10分で行います 終了後、針を抜きます

- ・針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- ・呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- ・眠気が強いとき、めまいやふらつきがあるときは、動く前にナースコールをしてください





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

水分をしっかりとりましょう
治療ダイアリーを記入しましょう

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

治療2日目：便秘、下痢
治療3日目：口内炎、神経障害、皮膚障害、爪のトラブル
について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
「がん治療による爪のトラブルについて」パンフレット参照

12:00

昼食

体調に合わせてシャワー浴をしましょう

針の入っていたところが赤い、腫れている、
痛みがあるときはすぐにお知らせください

- 関節痛、筋肉痛が強いときや、吐き気が強いときは、追加でお薬を使うことができます
- 食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます
- テセントリクハンドブック、治療ダイアリーも活用しましょう
息苦しさ、下痢、皮膚の症状など、テセントリクハンドブック
P25～P37に記載されている症状があるときは、すぐにお知らせください

18:00

夕食



フタをして
水を2回流しましょう

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう
治療ダイアリーを記入しましょう

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

治療4日目：骨髄毒性、関節痛・筋肉痛

治療5日目：肺障害、息切れ・動悸

治療6日目：脱毛

治療7日目：腎機能障害、浮腫

について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「関節痛・筋肉痛」ページ参照

「がん治療による脱毛に備えて（頭髮編）」パンフレット参照

12:00

昼食

体調に合わせてシャワー浴をしましょう

- ・関節痛、筋肉痛が強いときや、吐き気が強いときは、追加でお薬を使うことができます
 - ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます
 - ・テセントリクハンドブック、治療ダイアリーも活用しましょう
- 息苦しさ、下痢、皮膚の症状など、テセントリクハンドブックP25～P37に記載されている症状があるときは、すぐにお知らせください



18:00

夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・感染予防行動がとれる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温 血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

水分をしっかりとりましょう
治療ダイアリーを記入しましょう

- ★治療後8日目、10日目、15日目に血液検査があります
- ★治療後8日目、15日目に胸部レントゲン撮影があります

【次回外来で治療予定の方】
退院までに通院治療室の見学に行きます
「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」のページ参照

感染予防のために、マスクを着用して
手洗い・うがいをしましょう

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう

★退院前日
退院後の日常生活について説明します
「退院後の日常生活について」のページ参照

医療スタッフの目標

- ・副作用の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので
2階医事受付窓口でお支払ください

退院後も感染予防のために、マスクを着用して 手洗い、うがいを続けましょう

治療後、時間が経って出現する副作用もあります

- ・「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット
- ・「ベバシズマブガイドブック」
- ・「テセントリクハンドブック」

の副作用症状について再度確認し、次の治療に向けて 体調を整えておきましょう



医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安が残らないように支援します





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています

● 関節痛・筋肉痛

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます



2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましょう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時はマスクを着用して、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう
活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●食事

無理をしないで食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控え、タオルなどで拭くようにしましょう
歯磨きやうがいをして口の中を清潔に保ちましょう
(歯ブラシは小さく毛の柔らかいものを使用しましょう)

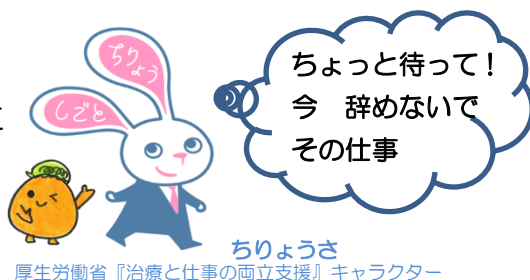
●仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）については、医師と相談してください

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●治療ダイアリーと血圧手帳

退院後も、治療ダイアリーと血圧手帳は、毎日記入しましょう

治療ダイアリーと血圧手帳は、次回受診時にお持ちください

血圧が正常値より高い、頭が重い感じが続く、鼻や歯肉からの出血が続く、またはテセントリクハンドブックP25～P37に記載されている症状（息苦しさ、下痢、皮膚の症状など）があるときは、医療スタッフにお知らせください

●副作用確認シート

退院までに「免疫チェックポイント阻害薬 副作用確認シート」をお渡しします

次回外来受診または入院時に、記入した副作用確認シートをお持ちください

記入方法は、次ページの記入例を参考にしましょう

●その他

虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内の不具合はないか確認しましょう

治療開始後、歯科治療が必要なときは、医師に歯科受診についてご相談ください

インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください

免疫チェックポイント阻害薬 副作用確認シート

I D (診察券番号): 123456



記入日: 2025 年 4 月 1 日

氏名: 四国 太郎

1. 下記の該当する症状に☑を記入してください

重症筋無力症・筋炎

- ☐ まぶたが下がってくる
☐ 物が二重に見える
☐ 筋肉痛がある

1型糖尿病

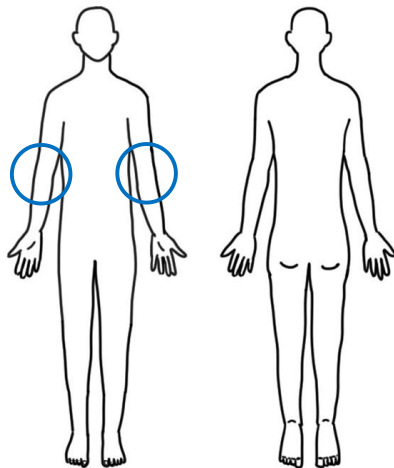
- ☐ 喉がひどく渇く ※1
☐ 尿の回数が増える

大腸炎・下痢

- ☐ 下痢が続く
☐ 便に血が混じる

間質性肺炎/心筋炎

- ☒ 息苦しい
☐ 動悸がする
☐ 咳が増えた
☐ 37.5℃以上の発熱 ※2

症状がある部位に
○を記入してください

正面

背面

内分泌障害

- ☐ 体がだるい
☐ 食欲が落ちる
☐ 吐き気が続く

皮膚障害

- ☒ 発疹がある
☒ 皮膚に痒みがある

神経障害

- ☒ 手足のしびれがある
☐ 力の入りにくさを感じる

静脈血栓塞栓症

- ☐ 足にむくみや腫れがある

2. 各症状について、下記の該当する状況すべてに☑をしてください

(退院後～当院受診まで/前回受診～今回受診までの体調をお答えください)

症状	グレード	0	1	2	3
対処			症状が辛い場合は 病院に相談しましょう	症状が2-3日続く場合 速やかに病院へ 連絡しましょう	速やかに病院へ 連絡しましょう
呼吸困難 (息苦しい)	☐ ない	☐ 階段や坂道を登る際に 息切れがある	☒ ゆっくり歩行した際に息切れ はあるが、日常生活はできる	☐ 息切れのため、身の回り のこともできない	
倦怠感 (体のだるさ)	☒ ない	☐ 急にだるさが出てきたが 休むと回復する	☐ 急にだるさが出てきて 持続するが日常生活はできる	☐ 急にだるさが出てきて 身の回りのこともできない	
食欲不振	☐ ない	☐ 食欲低下を感じるが 食事は変わらない	☒ 食欲低下を感じ、食事が 減った	☐ ほとんど食べられない	
嘔吐	☒ ない	☐ 1日1-2回吐く	☐ 1日3-5回吐く	☐ 1日6回以上吐く	
下痢	☒ ない	☐ 普段と比べて、1日1-3回 下痢が増えた	☐ 普段と比べて、1日4-6回 下痢が増えた	☐ 普段と比べて、1日7回 以上、下痢が増えた	
筋力低下 (力が入りにくい) (部位：)	☐ ない	☐ 明らかな筋力低下はないが 力の入りにくさを感じる	☒ 明らかな筋力低下はあるが 日常生活はできる	☐ 明らかな筋力低下のため 身の回りのこともできない	
※1 喉がひどく渇く	喉がひどく渇く状態が2日続く場合、速やかに病院へ連絡しましょう				
※2 発熱 (38.0℃以上)	38.0℃以上の発熱が2日続く場合、速やかに病院へ連絡しましょう				
その他の症状 (気になること等)	時々頭が痛い めまいがする				

次回入院で治療する場合は、病棟看護師または薬剤師にお渡しください

次回外来で治療する場合は、各診療科の受付にお渡しください



- ◆ 37.5℃を超える熱が出たとき
- ◆ 嘔気があり、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆ 体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき
- ◆ 激しい腹痛があるとき
- ◆ 激しい頭痛があるとき
- ◆ 出血が止まらないとき
- ◆ テセントリクハンドブックP25～P37に記載されている症状で、生活に支障を来すようなひどい症状があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30～17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00～17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



カルボプラチン+パクリタキセル+ベバシズマブ+アテゾリズマブ療法を受けられる方へ